

神様の御業を望み見る。

黒田 朔



クリスマスと新年のプログラムを終え、静かな空気の中で迎える2025年を思う。HBCが歩みだして5年、小さいながら、元気で楽しいシニアグループが考えつくことは色々何でもやって来た。そして今、取り組んでいる課題は「5年先のHBCを考える」こと。確かなことは一年たてばそれぞれが一つ年とり、5年先は明らかだ。しかし、望みがないわけではない。神様がおられ、ご自身の御業を進め

ておられる。現に、この間のクリスマスイブのキャンドルサービスにこれ以上は無理というまで椅子を並べたが、いつもの礼拝程度の人数の静かな礼拝を捧げ、ご降誕を喜び、感謝した。明けて、新年礼拝にはいつもより多めの椅子を並べ、別室の準備もしておいたところが、礼拝が始まる頃には、両方ともあふれ、我が家の椅子まで持ち出し、家内は階段に座って礼拝を守った。いろいろ考えることは大切である。しかし、私たちの計算は確かではない。教会にとって、先ず、大切なことは神様の御業に期待し、神様の働きを計算に入れ、期待し、喜ぶ準備を忘れずに、自分たちの歳を数えることだと思う。さて、2025年、私達、阪南バイブルチャペルとして神様の御業を見る準備を始めよう。

「弟子たちは出て行って、いたるところで福音を宣べ伝えた。主は彼らとともに働き、みことばを、それに伴うしるしをもって、確かなものとされた。」(マルコ 16:20)